



1p	トップインタビュー センサテクノロジーを通じて、 安全・安心・快適な環境創りに貢献していきます。
3p	商品紹介
4p	トピックス
5p	事業・商品紹介と商品別営業の概況(連結)
7p	連結財務諸表
9p	単独財務諸表
10p	展示会紹介
11p	株式の状況
12p	ネットワーク
13p	会社概要
14p	株主メモ

第 56 期

中間報告書

2014.4.1 ▶ 2014.9.30

JASDAQ
証券コード:6824

新コスモス電機株式会社

センサテクノロジーを通じて、安全・安心・快適な環境創りに貢献していきます。

代表取締役社長
重盛 徹志



Q この第2四半期までの業績を教えてください。

A まず、当社グループを取り巻く環境ですが、消費税率の引き上げによる駆け込み需要の反動、また夏場の天候不順の影響により、先行き不透明な状況が続いています。

こうした環境の中、当社グループは、家庭用ガス警報器や住宅用火災警報器、工業用定置式ガス検知警報器、携帯用ガス検知器、二酸化炭素センサの開発から、独自のガスセンサを応用した火災予知、医療分野、室内の空気質検知、さらには省エネルギーに貢献できる機器の開発などへ、その展開を広げています。そしてお客さまの視点に立った新商品の開発で、お客さま満足度のより一層の向上を目指してきました。

その結果、家庭用ガス警報器は交換需要の端境期の影響もあり売上が減少したものの、工業用定置式ガス検知警報器、業務用携帯型ガス検知器の売上が堅調に推移した結果、売上高は91億9千5百万円と前年同期に比べ1.0%の増加となりました。利益につきましては経常利益が同3.2%減の9億6千8百万円、中間純利益が同0.7%減の6億3千9百万円となりました。

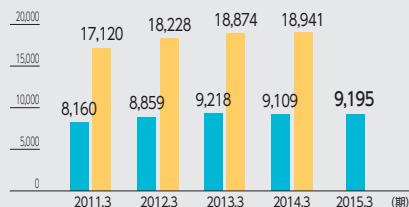
Q 通期の見通しはいかがですか。

A 当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結売上高ならびに利益については、概ね当初の計画通りで推移しています。

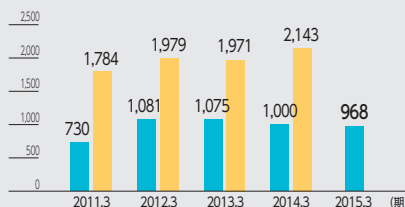
● 連結財務ハイライト

■ 中間 ■ 通期

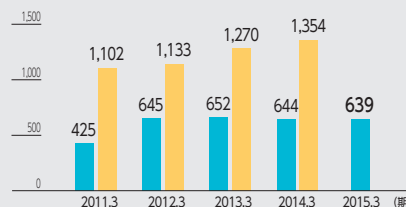
売上高 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



中間(当期)純利益 (単位:百万円)



国内の景気も回復基調ではあるものの、消費税率引き上げの反動の影響が引き続き見られ、また海外景気の下振れなど不安定な要素があります。

このような環境ではありますが、当社グループは、引き続き社会全体に見られる安全・安心への意識の高まりや、環境に対する取り組みの強化といった社会の変化に対応し、新商品の開発や営業活動の強化、原価の低減や経費削減による経営の効率化などに取り組み、業績の向上に努めてまいります。

通期の連結売上高は193億6千2百万円、経常利益は20億3千3百万円、当期純利益は13億3千万円と、期初に発表いたしました当初計画どおりと予想しています。

Q 新ガスセンサ工場の建設は順調ですか。

A 昨年12月から建設をはじめた新ガスセンサ工場は、この9月に無事竣工を迎えることができました。現在は来春からの生産開始に向けた準備を行なっています。ガスセンサといっても検知するガスによってさまざまな種類があるため、全てのガスセンサの生産が新工場に移管されるまでには2年ほどかかる予定です。



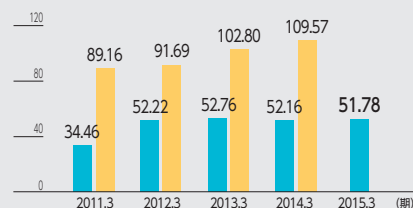
Q 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

A おかげさまで第2四半期までは計画通りに取り組みを進めることができいております。今後も当社グループでは、お客様の視点に立った新商品の開発に一層注力して取り組んでいきます。そして営業・サービス体制および品質管理体制を強化し、世界中のみなさまに安全・安心をお届けしていきたいと考えています。

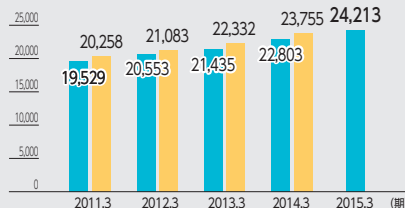
そして経営の効率化のため、原価の低減や経費の削減など経営基盤の強化にも取り組み、業績向上につなげていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、これからも当社グループへの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

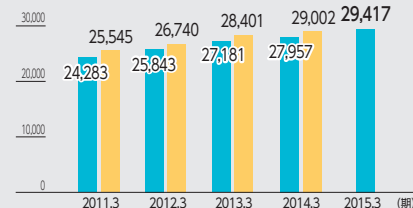
一株当たり中間(当期)純利益 (単位:円)



純資産 (単位:百万円)



総資産 (単位:百万円)



LPガス用ガス警報器「CF-626」を開発しました

空気より重いLPガスを検知する家庭用のLPガス警報器は、床面から30cm以内の高さに設置するよう法令で定められています。そのため、台所での足元の邪魔にならないよう、より小型・軽量化を求めて改良が続けられてきました。

この度開発したガス警報器「CF-626」はこれまでのブザーで警報をお知らせする基本機能は継続しながら、お客様により便利に、より安全をご提供できるようにリニューアルを行ないました。

主なリニューアルポイントとして、通常監視状態に入るまでの時間(初期安定時間)を従来品の2分から約5秒に大幅に短縮、設置の手間を軽減しました。警報時は、高齢者にも聞き取りやすい幅広い周波数を使ったスイープ音による警報音とランプの点滅でわかりやすくお知らせし、監視時は暗い部屋でも違和感のないほのかな光で監視します。また、殺虫剤などの噴射によって誤って作動させた場合でも、警報音を一時的に停止することができます。その他、警報音確認機能、交換期限お知らせ機能を搭載。監視時、警報時とも消費電力0.9Wのエコマーク認定商品です。



新JIS対応の酸素計のラインナップがそろいました

携帯用ガス検知器は、作業員の安全を守るため、作業環境の事前測定や作業中の安全確保にさまざまな作業現場で使用されています。その中には、マンホールやタンク内など酸素欠乏の恐れがある場所もあり、こうした場所では作業前の酸素濃度測定が義務付けられており、日本工業規格(JIS)の酸素計の項目に適合する製品の使用が求められています。

2013年3月にこのJISが改正され、また産業の現場で事故が相次ぎ、企業や作業現場における保安への意識が高まっていたことから、新JISに対応した酸素計へのニーズも高まってきました。

当社では携帯用から定置式まで、新JIS対応の商品をラインナップすることで、お客様が使用環境に合わせた酸素計を選べるようにいたしました。今回ラインナップした商品は以下の通りです。



XO-326 II s

KS-70

酸素計 (装着型)	XO-2200	一体型酸素検知警報器	KS-70
デジタル酸素濃度計	XO-326 II s	濃度表示機能付ガス検知部 酸素用	KD-120

TOPICS

1

都市ガス用ガス警報器「XW-815G」が2014年度のグッドデザイン賞を受賞しました



天井直付け型の都市ガス用ガス・CO警報器「XW-815G」が2014年度のグッドデザイン賞を受賞しました。

グッドデザイン賞は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する、総合的なデザインの推奨制度で、前身の1957年に通商産業省(現経済産業省)によって創設された「グッドデザイン商品選定制度(通称Gマーク制度)」以来50年以上にわたって、私たちの暮らしと産業、そして社会全体を豊かにする「よいデザイン」を顕彰し続けています。

当社ではこれまで、携帯用ガス検知器「XP-702S」「XP-702II」「ミニ検シリーズ」と産業用の部門では受賞をしてきましたが、家庭用部門では初めての受賞となりました。

今回、「XW-815G」では、「家庭の天井面の美観を損なわないデザイン」であることが評価され、かつ「どこから見上げても確実に警報が認識できる機能を有すること」が求められる警報器において、「これに誠実に取り組んだ結果」として生まれたデザインであり、「薄型かつシンプルなデザインを目指し、表示部や操作部を独立させず、アウトラインに溶け込ますことでデザイン全体の統一感を向上させている」点が評価され、受賞となりました。

TOPICS

2

地元の中学校で「職業講話」を実施しました

7月4日(金)に大阪市の中学校で「職業講話」を実施しました。「職業講話」とは、地域にあるさまざまな分野の職業に就いている人々から、社会人としての大事な考え方や仕事にかける思いなどを生徒たちに伝える取り組みで、今回、当社に初めて依頼がありました。参加企業は中学校校区内の消防署、特別養護老人ホーム、製薬会社、化学会社等10社ほどでした。

今回の「職業講話」の趣旨として「働く人と交流することで、自分や社会、働くことについて考える」「貴重な労働体験を通して、自らの進路決定に展望を持つ」「働く人々とのふれあいを通して、社会人としてのマナーを学習する」といったことが挙げられており、講話では、おもな仕事内容・仕事にかける思いなどについて1回50分の講話を2回実施いたしました。

後日、参加して頂いた生徒全員から、お礼と一緒に実験をしたことが印象に残っているといった感想文を頂きました。次回「職業講話」をする機会があれば、さらに内容を工夫し、生徒の皆さんの将来を考える際の一助になればと思っています。



◎ 事業・商品紹介と商品別営業の概況(連結)

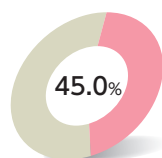
家庭用ガス警報器

売上高	41億3千4百万円	前年比
		8.3% ↓

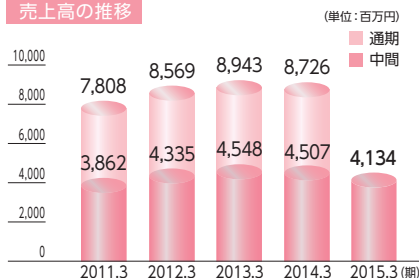
事業・商品 台所での万が一のガス漏れ、不完全燃焼を見張るガス警報器。寝室などで煙を感知してお知らせする火災警報器。大切な家族の命や財産を守り、毎日の暮らしに安心をお届けするため、商品のラインナップを充実させていきます。

営業の概況 都市ガス用につきましては、拡販に努めました。販売が伸び悩み売上高は前年を下回りました。LPガス用につきましては、新規顧客開拓により販売が伸び売上高は前年を上回りました。その結果、家庭用ガス警報器の売上高は41億3千4百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

売上高構成比



売上高の推移



LPガス用ガス警報器



住宅用火災・CO警報器



住宅用火災・都市ガス・CO警報器

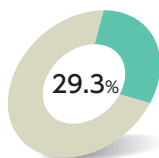
工業用定置式ガス検知警報器

売上高	26億9千万円	前年比
		7.1% ↑

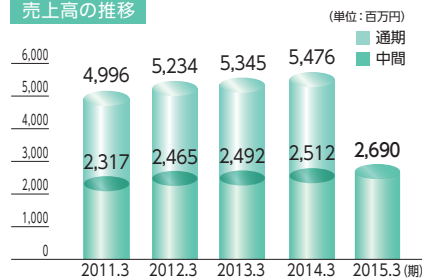
事業・商品 ガスタンク、石油化学工場、半導体製造工場、水素ステーションなどでは、ガスの安全管理が不可欠です。お客様のニーズにお応えするため、ガス検知警報器一体型から数千点のガス検知部を持つ大型システムまで、現場に応じた最適なシステムを提案・提供しています。

営業の概況 半導体業界向けガス検知警報器の拡販に努めた結果、売上高は26億9千万円(前年同期比7.1%増)となりました。

売上高構成比



売上高の推移



半導体材料ガス用ガス検知部



濃度表示機能付ガス検知部

業務用携帯型ガス検知器

売上高

22億4千9百万円

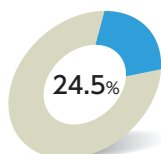
前年比

13.2% ↑

事業・商品 ガス配管からのガス漏れチェック、工事現場でのガス漏れ検知、酸欠・中毒事故防止のために使用される携帯用ガス検知器。作業者のみなさまが使いやすいように小型化・軽量化を目指して開発しています。また、センサユニット交換式など、使いやすさの追求もしています。

営業の概況 都市ガス業界向け一酸化炭素測定器の拡販に努めた結果、売上高は22億4千9百万円(前年同期比13.2%増)となりました。

売上高構成比



売上高の推移



マルチ型ガス検知器



超小型ガス検知器

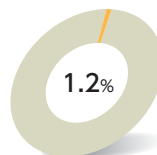


可燃性ガス探知器

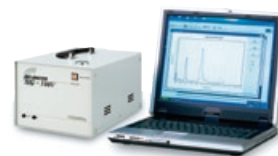
その他

事業・商品 さまざまな二オイの強弱の測定、トルエン・キシレンなどの揮発性有機化合物(VOC)の現場での分析、換気扇の運転を自動でコントロールして、冷暖房の効率化で省エネに貢献する「換気扇コントローラ」。どれもガスセンサの応用から生まれました。独自のガスセンサ技術により、日々新しい可能性を追求しています。

売上高構成比

ポータブル型
ホルムアルデヒド簡易測定器

換気扇コントローラ



ポータブルガス分析装置



二オイセンサ

○ 連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当中間期 2014年9月30日現在	前中間期 2013年9月30日現在	前期 2014年3月31日現在
資産の部			
流動資産	17,911	20,357	20,126
現金及び預金	8,937	11,628	10,784
受取手形及び売掛金	5,318	5,087	5,855
たな卸資産	3,321	3,352	3,203
繰延税金資産	341	406	343
その他	283	172	248
貸倒引当金	△291	△289	△308
固定資産	11,506	7,599	8,875
有形固定資産	6,405	3,861	4,936
建物及び構築物	795	555	825
機械装置及び運搬具	201	176	215
土地	2,881	2,727	2,881
建設仮勘定	2,179	46	639
その他	346	355	374
無形固定資産	590	687	648
投資その他の資産	4,510	3,051	3,290
投資有価証券	3,831	2,203	2,529
繰延税金資産	91	304	171
その他	588	547	592
貸倒引当金	△1	△3	△3
資産合計	29,417	27,957	29,002

科目	当中間期 2014年9月30日現在	前中間期 2013年9月30日現在	前期 2014年3月31日現在
負債の部			
流動負債	3,970	3,845	4,018
支払手形及び買掛金	2,242	2,292	2,267
未払法人税等	328	367	362
賞与引当金	407	402	347
製品保証引当金	123	137	138
その他	869	645	902
固定負債	1,233	1,307	1,228
退職給与引当金	－	1,139	－
退職給付に係る負債	1,039	－	1,042
役員退職慰労引当金	187	168	177
その他	6	－	7
負債合計	5,204	5,153	5,246
純資産の部			
株主資本	23,374	22,322	23,031
資本金	1,460	1,460	1,460
資本剰余金	934	934	934
利益剰余金	21,265	20,213	20,923
自己株式	△285	△285	△285
その他の包括利益累計額	729	377	615
その他有価証券評価差額金	668	326	517
為替換算調整勘定	48	50	82
退職給付に係る調整累計額	12	－	15
少数株主持分	108	104	107
純資産合計	24,213	22,803	23,755
負債純資産合計	29,417	27,957	29,002

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	2014年4月1日から 2014年9月30日まで	2013年4月1日から 2013年9月30日まで	2013年4月1日から 2014年3月31日まで
売上高	9,195	9,109	18,941
売上原価	4,890	4,898	10,182
売上総利益	4,305	4,210	8,759
販売費及び一般管理費	3,376	3,267	6,729
営業利益	929	943	2,029
営業外収益	44	58	117
受取利息及び配当金	24	22	42
その他	20	36	74
営業外費用	5	1	2
経常利益	968	1,000	2,143
特別利益	1	0	0
特別損失	0	0	29
税金等調整前 中間(当期)純利益	970	1,000	2,114
法人税等	329	353	754
少数株主損益調整前 中間(当期)純利益	641	646	1,359
少数株主利益	1	2	5
中間(当期)純利益	639	644	1,354

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	2014年4月1日から 2014年9月30日まで	2013年4月1日から 2013年9月30日まで	2013年4月1日から 2014年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,157	1,049	1,531
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,842	△584	△1,932
財務活動による キャッシュ・フロー	△297	△272	△272
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△28	38	61
現金及び現金同等物の 増減額	△2,010	230	△613
現金及び現金同等物の 期首残高	10,674	11,246	11,246
合併に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	41	41
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	8,663	11,518	10,674

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社は四半期連結財務諸表規則を採用しておりますが、本表では中間と読み替えて表示しております。

単独貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当中間期 2014年9月30日現在	前中間期 2013年9月30日現在	前期 2014年3月31日現在
資産の部			
流動資産	14,390	16,982	16,847
固定資産	11,118	7,617	8,477
有形固定資産	5,879	3,730	4,403
無形固定資産	583	682	640
投資その他の資産	4,654	3,204	3,432
資産合計	25,508	24,600	25,324
負債の部			
流動負債	4,005	3,902	4,099
固定負債	1,072	1,156	1,082
負債合計	5,078	5,058	5,182
純資産の部			
株主資本	19,761	19,214	19,624
資本金	1,460	1,460	1,460
資本剰余金	934	934	934
利益剰余金	17,653	17,105	17,515
自己株式	△285	△285	△285
評価・換算差額等	668	326	517
その他有価証券評価差額金	668	326	517
純資産合計	20,430	19,541	20,141
負債純資産合計	25,508	24,600	25,324

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単独損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当中間期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前中間期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前期 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
売上高	9,242	9,200	18,957
売上原価	5,884	5,837	12,109
売上総利益	3,357	3,363	6,848
販売費及び一般管理費	2,767	2,717	5,584
営業利益	590	645	1,264
営業外収益	50	62	110
営業外費用	0	1	2
経常利益	639	707	1,372
特別利益	—	—	—
特別損失	0	0	29
税引前中間(当期)純利益	639	707	1,342
法人税、住民税及び事業税	204	240	384
法人税等調整額	—	—	82
中間(当期)純利益	434	466	876

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

「日経IRフェア2014」に出展しました

8月29日(金)、30日(土)の2日間、東京ビッグサイトで開催された個人投資家向けイベント「日経IRフェア2014」に出展しました。当社の出展は今年で6年目となります。今年は70社を超える出展企業があり、来場者数も2日間で16,280名と多くの方が来場されていました。

当社は例年通り、ブースで会社概要・株式情報を掲示したほか、家庭用ガス警報器や携帯用ガス検知器などの商品を展示、また一時間ごとにブース内で10分程度のミニ説明会を行いました。今年から各種情報の掲示をパネル方式から壁面印刷に変更したり、モニター設置位置を中央に移動したりするなど、これまでとは違ったブース作りを行いました。

今年は株価の回復基調を受け、投資先を検討しているといった印象を受ける個人投資家の方が多く、現在の業績や業界の特長といった質問をはじめ、今後の会社の経営戦略、最近注目を集めている水素エネルギー市場に向けた当社の取り組みについてといった質問も受けました。

引き続き当社の知名度向上に向け、IR活動を行ってまいります。



「JASIS2014」に出展しました

9月3日(水)から5日(金)にかけて千葉・幕張メッセで開催された「JASIS 2014」に出展しました。この展示会は分析展・科学機器展の合同展であり、世界有数の分析・科学機器関連専門の展示会です。

この展示会ではポータブルガス分析装置やポータブル型二オイセンサを中心に、携帯用ガス検知器などを展示しました。当社ブースへの来場者は初日の出足こそ悪かったものの、3日間トータルとしては昨年よりも増加し、盛況のうちに終わることができました。

ブースにお越しのお客様では二オイの測定に興味を持たれる方が多く、具体的に測定したい二オイの種類や状況を例にあげながら質問をされる方も多くいらっしゃいました。

当日参加した説明担当者は、丁寧にわかりやすく説明を行い商品への理解を深めていただくことはもちろんですが、当社のイメージ向上につながることも重要だと考えながら説明を行っています。当社と一緒に仕事がしたいというお客さまが展示会を通じて増えていけばと思っています。

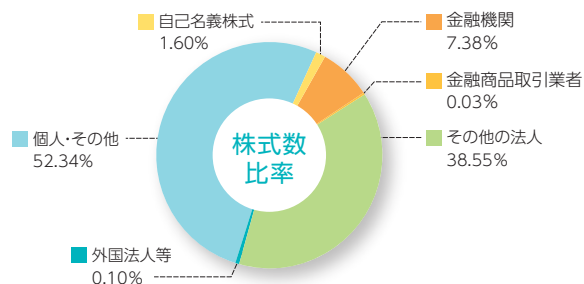
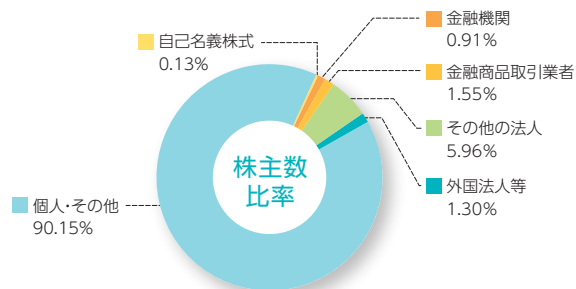


株式の状況 (2014年9月30日現在)

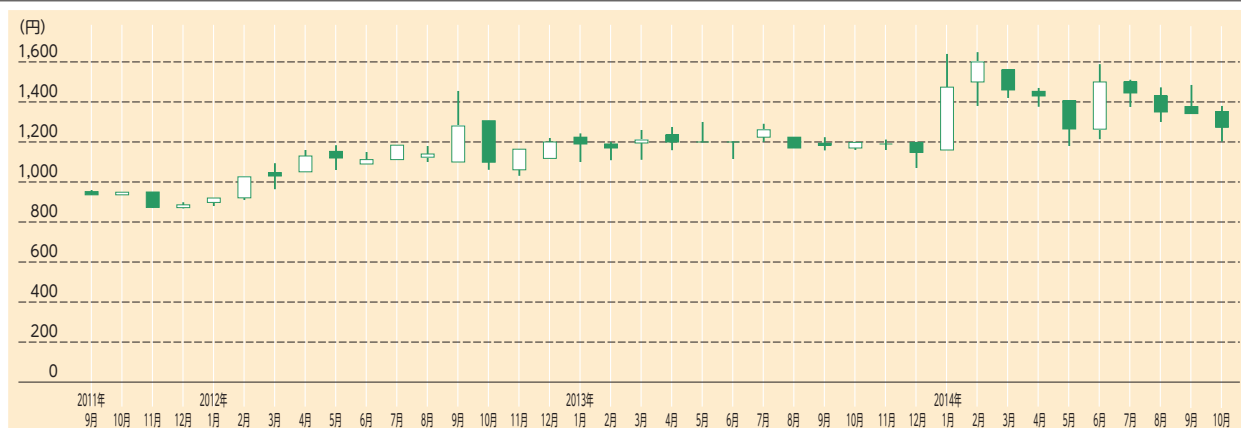
発行可能株式総数 50,000,000株
 発行済株式の総数 12,561,000株
 株主数 772名
 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
岩谷産業株式会社	2,601(千株)	21.05(%)
有限会社アール・ケイ	572	4.63
新コスモス電機取引先持株会	534	4.32
八田 正	509	4.12
笠原 美都子	475	3.85
新コスモス電機従業員持株会	463	3.75
大阪瓦斯株式会社	442	3.58
柴田 芳市	433	3.51
第一生命保険株式会社	385	3.11
齋賀 優子	371	3.01

(注) 1. 持株比率は自己株式(200,835株)を控除して計算しております。
 2. 発行済株式の総数には自己株式(200,835株)を含んでおります。



株価の推移



● **事業所** (2014年9月30日現在)

- 本社・工場・
関西支社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4
TEL.(06)6308-3112
- 東日本支社 〒105-0013 東京都港区浜松町2-6-2
浜松町262ビル TEL.(03)5403-0511
- 中部支社 〒461-0004 名古屋市東区葵3-15-31
千種第2ビル TEL.(052)933-1680
- 九州・
中国支社 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1
NORITZビル TEL.(092)431-1881
- 札幌営業所 〒060-0005 札幌市中央区北五条西6-2-2
札幌センタービル TEL.(011)231-1101
- 仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-12-7
ティエヌビルディング TEL.(022)295-6061
- 新潟営業所 〒950-0916 新潟市中央区米山3-1-201
ファースト米山 TEL.(025)365-1390
※2014年6月9日に上記住所へ移転いたしました。
- 静岡営業所 〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町11-7
三井生命静岡駅前ビル2F TEL.(054)255-1901
※2014年9月22日に上記住所へ移転いたしました。
- 北陸営業所 〒920-0065 金沢市二ツ屋町8-1
アーバンユースフルビル
TEL.(076)234-5611
- 広島営業所 〒732-0827 広島市南区稲荷町2-16
広島稲荷町第一生命ビル
TEL.(082)568-2800
- 九州営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1
NORITZビル TEL.(092)431-1881
- 北関東出張所 TEL.(048)643-1223
- 千葉出張所 TEL.(043)209-1650
- 神奈川出張所 TEL.(045)473-6451
- 京滋出張所 TEL.(077)526-8222
- 姫路出張所 TEL.(079)225-8965
- 岡山出張所 TEL.(086)456-5200
- 海外事務所 台湾事務所
韓国事務所

● **主な関係会社** (2014年9月30日現在)

- 新コスモス電機メンテナンス株式会社
- コスモスサービス株式会社
- イズム電機株式会社
- 新考思莫施電子(上海)有限公司



◆ 会社概要 (2014年9月30日現在)

社名	新コスモス電機株式会社
設立	1960年6月15日
資本金	1,460百万円
従業員数	406名
主要商品	家庭用ガス警報器 LPガス警報器／都市ガス警報器／CO警報器／住宅用火災警報器／ LPガス集中監視システム 等 工業用定置式ガス検知警報器 各種ガス検知警報器／総合ガス保安管理システム／電力線搬送方式ガス漏洩 監視システム／シールド工用ガス監視システム 等 業務用携帯型ガス検知器 可燃性ガス検知器／毒性ガス検知器／酸素濃度計／複合型ガス検知器 等 その他 二オイセンサ／室内空気汚れセンサ 等

ホームページのご案内

当社に関する情報は、当社ホームページでも
ご覧いただけます。ぜひ一度アクセスください。



<http://www.new-cosmos.co.jp/>

◆ 役員 (2014年9月30日現在)

代表取締役社長	重 盛 徹 志
取締役副社長執行役員	上 所 民 生
取締役副社長執行役員	松 原 義 幸
取締役副社長執行役員	高 橋 良 典
取締役常務執行役員	飯 森 龍
取締役上席執行役員	金 井 隆 生
取締役上席執行役員	相 川 勝之助
取締役上席執行役員	別 府 辰 人
取締役上席執行役員	竹 内 徹
社外取締役	谷 本 光 博
常勤監査役	前 條 忠 則
社外監査役	宮 本 界 平
社外監査役	池 上 久 雄

◆ 執行役員 (2014年9月30日現在)

執行役員	品質管理本部長	引 田 弘 明
執行役員	海外営業本部第二営業部長	山 下 栄 二
執行役員	センサ本部長	中 谷 幹 哉
執行役員	海外営業本部第一営業部長	王 宏 仁
執行役員	国内営業本部中部地区営業統括部長	加 藤 雅 夫
執行役員	国内営業本部 西日本インダストリ営業担当 兼 関西支社長	岩 見 知 明
執行役員	生産本部長	前 川 芳 郎
執行役員	国内営業本部 九州・中国支社長	安 本 哲 也

見直しに関する注意事項

本報告書に記載している将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。
実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

株主メモ

◆ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL.0120-094-777(通話料無料)
上 場 市 場	東京証券取引所 JASDAQ市場
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞 貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス http://www.new-cosmos.co.jp/kessan/index.htm

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

1. 平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について

平成26年1月1日以降に個人の株主さまが支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として**20.315%**(※)の源泉徴収税率が適用されます。

(※)所得税 15%、復興特別所得税 0.315%、住民税 5%。

なお、株主さまによっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問合せください。

2. 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要があります。なお、期末または中間配当金につき「**株式数比例配分方式**」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間の「**配当金受領株主確定日**」までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けてください。

また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまは「**株式数比例配分方式**」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

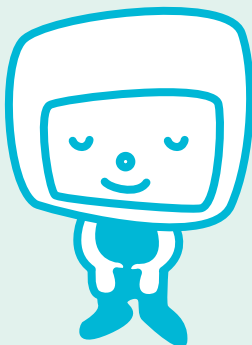
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。

○本ご案内は平成26年1月時点の情報をもとに作成しております。



新コスモス電機株式会社

当社では、株主のみなさまの声を聞かせたいため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



株主のみなさまの声を聞かせください

株主さま向けアンケート

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>



アクセスコード
6824

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信



kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com